

退院退所加算について

小山市 地域包括ケア推進課

○加算について

担当する利用者の退院・退所に際して、医療機関や介護保険施設等（以下、「病院等」という。）からの情報をもとにケアプランを作成し、関係機関との連絡調整をおこなった際に加算します。

○単位数

	単位数	情報提供の回数	カンファレンス
退院退所加算(Ⅰ)イ	450単位	1回	なし
退院退所加算(Ⅰ)ロ	600単位	1回	あり
退院退所加算(Ⅱ)イ	600単位	2回	なし
退院退所加算(Ⅱ)ロ	750単位	2回	あり (2回のうち1回以上)
退院退所加算(Ⅲ)ホ	900単位	3回	あり (3回のうち1回以上)

○算定要件

- ・病院等を退院・退所し、居宅サービス等を利用する場合において、退院・退所にあたって病院等の職員と面談を行い、利用者に関する情報を得た上でケアプランを作成し、居宅サービス等の利用に関する調整をおこなった場合に算定します。

→つまり…

- ★入院（入所）している病院等の医師や看護師等から情報を得ることが大前提！
- ★「足代」も含めた加算のため、面接が必須！FAX や電話は不可！
- ★原則として、得た情報をもとにケアプランの作成までが要件！

- ・同一日に必要な情報の提供を複数回受けた場合又はカンファレンスに参加した場合でも、1回として算定します。
- ・原則として、退院退所前に情報を得ることが望ましいですが、退院後7日以内に情報を得た場合にも算定できます。
- ・入院または入所期間中につき1回の算定を限度とします。
- ・初回加算との同時算定は不可です。

要注意

医療又は診療所を退院する場合のカンファレンスの定義について

病院又は診療所を退院する際のカンファレンスについては、「診療報酬の算定方法（平成 20 年厚生労働省告示第 59 号）別表第 1 医科診療報酬点数表の退院時共同指導料 2 の注 3」の要件を満たすものとされています。



「退院時共同指導料 2 の注 3」
の要件とは…？

「注 1 の場合において、入院中の保健医療機関の保険医又は看護師等が、在宅療養担当医療機関の保険医若しくは看護師等、保険医である歯科医師若しくはその指示を受けた歯科衛生士、保険薬局の保険薬剤師、訪問看護ステーションの看護師等（准看護師を除く。）、理学療法士、作業療法士若しくは言語聴覚士、介護支援専門員（介護保険法第 7 条第 5 項に規定する介護支援専門員をいう。以下同じ。）又は相談支援専門員（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定計画相談支援の事業の人員及び運営に関する基準（平成 24 年厚生労働省令第 29 号）第 3 条第 1 項に規定する相談支援専門員をいう。以下同じ。）のうちいずれか 3 者以上と共同して指導を行った場合に、多機関共同指導加算として、2,000 点を所定点数に加算する。



つまり…？

★ 必須 ★

- ・入院医療機関の医師 or 看護師 or 医療ソーシャルワーカー など

★ 以下の a～f の中からいずれかから 3 者以上 ★

- a.在宅かかりつけ医の医師 or 看護師 など
- b.歯科医師 or 歯科衛生士(歯科医師の指示を受けたもの)
- c.保険薬剤師
- d.訪問看護ステーションの看護師(准看護師を除く) or 理学療法士 or 作業療法士 or 言語聴覚士
- e.介護支援専門員
- f.相談支援専門員



- ・通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションなど、a～f 以外の参加者は「3 者」のなかには含めることができません！
- ・同事業所から 2 名以上（例：訪問看護ステーションから看護師と理学療法士の 2 名等）が参加した場合でも、1 者の扱いとなります！